

健診データを活用した成人における好中球減少症の疫学・予後調査への協力について（過去の健診データの調査研究への使用のお願い）

NTT 東日本関東病院では、筑波大学附属病院血液内科が行っている、「成人における好中球減少症の疫学・予後調査研究」について、以下のとおり協力しています。

研究課題名：

「健診データを活用した成人における好中球減少症の疫学・予後調査」

研究の意義・目的：

成人慢性好中球減少症は、重症例では感染症などで命にかかわる疾患群ですが、その発症頻度や合併症、予後などの詳細は分かっていません。これらを明らかにするには多数の症例の経験の蓄積が必要ですが、希少な疾患であることから、一施設に来院する患者数は極めて少ない状況です。また、健康診断で指摘されるような軽症例は、経過観察となり医療機関を受診しないことも少なくないと考えられています。そこで、筑波大学では、健診施設と連携した疫学調査を計画いたしました。

方法：

当院は、成人に係る各種健診データを筑波大学附属病院血液内科へ提供します。筑波大学附属病院血液内科では、提供されたデータを用いて好中球減少症の発症頻度や原因・合併症などを解析します。

対象となる健診：

当院が 2017 年 4 月 1 日～2019 年 3 月 31 日に実施した、白血球数及び白血球百分率を含む各種健診です。

研究期間：

本研究の研究期間は、2015 年 8 月 4 日から、2022 年 3 月 31 日までです。また、本研究において収集されたデータは、本研究の終了日から 10 年間、保管されます。

保有する個人情報の利用目的：

本研究で得られた情報は、本研究のためだけに使用されます。当院から筑波大学に対しては、受診者の氏名などをあらかじめ除いて匿名化した情報を提供し

ております。また、解析結果は論文や学会、ホームページ等で公開される予定です。

費用負担：

過去のデータを使用する研究であり、新たな検査や費用が生じることはなく、また、データを使用させていただいた患者さんへの謝礼等もありません。

研究成果について：

調査研究の結果、特許などの知的財産が生じる可能性もございますが、その権利は大学・研究者に帰属し、あなたには帰属しません。

情報公開を拒否したい場合の連絡先：

「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」第12の1(2)イの規定により、研究者等は、被験者からインフォームド・コンセント（説明と同意）を受けることを必ずしも要しないと定められております。そのため今回の研究では患者さんから同意取得はせず、その代わりに対象となる患者さんへ向けホームページで情報を公開しております。

この研究の対象となる患者さんで、ご自身の情報は利用しないでほしい等の要望がございましたら、大変お手数ですが下記の問い合わせ先までご連絡ください。なお、同意の有無が今後の治療などに影響することはありません。

研究代表者：

筑波大学附属病院血液内科 千葉 滋

研究事務局：

筑波大学附属病院 血液内科 横山 泰久

電話：029-853-3127（血液内科ステーション，対応可能時間：平日9：00-17：00）

FAX：029-853-8079

研究責任医師：

NTT 東日本関東病院 血液内科 部長 臼杵憲祐

NTT 東日本関東病院 血液内科 電話番号 03-3448-6111（代表）